

事業評価報告書

(こうち男女共同参画センター 平成26年度指定管理)

項目	評価できる取組等	改善すべき課題
I 適正な管理運営の確保に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・設置目的に従って、公益的な視点から管理運営できている。 ・備蓄品の補充や避難訓練など、非常用の対応がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・組織として職員に求める資質を明確にした上での、段階的かつ体系的な職員研修の実施。 ・大規模な災害を想定した、具体的・個別的な避難訓練の実施。
II 施設利用の促進に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な層にアプローチし、利用者の拡大に努めている。 ・託児室の利用年齢の拡大や駐車場の台数増、駐車場への警備員配置等、利用者のニーズに対応した取組を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者拡大に向けた、利用者のデータ(年代別、性別)の分析・把握。 ・幅広い層が参加できる取組の実施。
III 男女共同参画推進のための事業展開に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針に従い、その時々タイムリーなテーマを取り入れながら、利用者のニーズに合致した事業を展開できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な事業を実施しているものの、目指す成果や効果が明確でない講座もあるため、タイトルやターゲットを含めた、内容の練り直しの実施。
IV 指定管理期間内での達成目標に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を意識した事業展開を行い、ほとんどの項目で目標が達成できている。 ・厳選された特徴的な専門書が置かれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既に達成できている数値目標を5年間継続している。内容に応じた目標設定の見直しの実施。 ・新図書システムの活用やPRによる図書貸出の利用促進と、幅広い層が借り易い工夫の実施。
V 管理代行料に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド装置の活用など、コストの削減に積極的に努めている。 ・設備の更新など、利用者のニーズに沿って、剰余金を有意義に活用できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる自主財源の確保とコスト削減。 ・剰余金の事業等への柔軟な活用。
総合評価	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">B</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・全般的に滞りなく、事業を実施しており、利用者拡大やコスト削減など様々な場面で努力が認められる。 ・評価委員会からの意見についての積極的な検討と、前年度の指摘事項への対応について、具体的な説明が十分とは言えない部分が見受けられる。 ・「男女共同参画」の原点に立ち返り、基本スタンスを確認した上で、これまでの事業を振り返り、創意工夫、マンネリ化からの脱出、改善を図るなどの積極性を求める。

- 【評価の目安】 A: 事業計画書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B: おおむね事業計画書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C: 事業計画書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの